

# イーストスプリング・ フィリピン株式オープン

追加型投信／海外／株式

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、主にフィリピンの企業の株式等を投資対象とする投資信託証券に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。当作成対象期間につきましてもこれに沿った運用を行ってまいりました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜われますよう、お願い申し上げます。

作成対象期間 2017年9月8日～2018年3月7日

第11期 2018年3月7日決算

日経新聞掲載名：フィリピン株

第11期末	基準価額	9,241円
	純資産総額	2,450百万円
第11期	騰落率	-1.8%
	分配金合計	0円

(注)騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

## イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

<http://www.eastspring.co.jp/>

【お問い合わせ先】

電話番号：03-5224-3400

(受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで)

当ファンドは、信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順で閲覧、ダウンロードすることができます。なお、書面をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

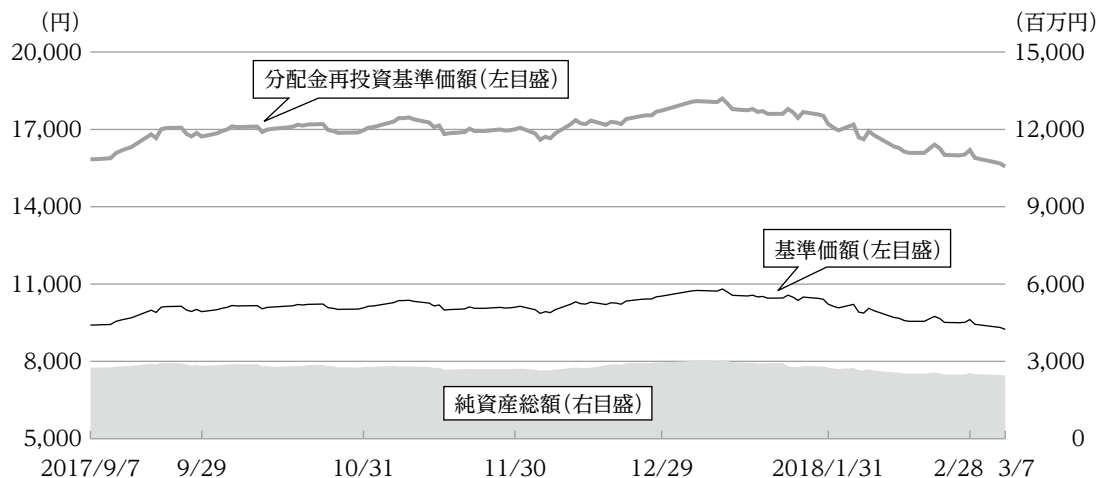
<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

ホームページにアクセス ⇒ 「運用状況」のタブを選択 ⇒ 当ファンドの「運用報告書(全体版)」を選択

## 運用経過

### 基準価額等の推移について

(2017年9月8日～2018年3月7日)



第11期首	9,410円
第11期末	9,241円(既払分配金0円)
騰落率	-1.8%(分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

### 基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は下落しました。

上昇要因



・税制改革の進展などを背景にフィリピン株式市場が上昇したこと。

下落要因



・フィリピンペソ安円高となったこと。

# 1 万口当たりの費用明細

(2017年9月8日～2018年3月7日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	67円	0.669%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 期中の平均基準価額は、10,080円です。
(投信会社)	(26)	(0.257)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(40)	(0.402)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	( 1)	(0.011)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	4	0.044	(b) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
(監査費用)	( 2)	(0.016)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷)	( 3)	(0.028)	目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
(その他)	( 0)	(0.000)	余資運用に係る費用 (マイナス金利相当額)
合計	71	0.713	

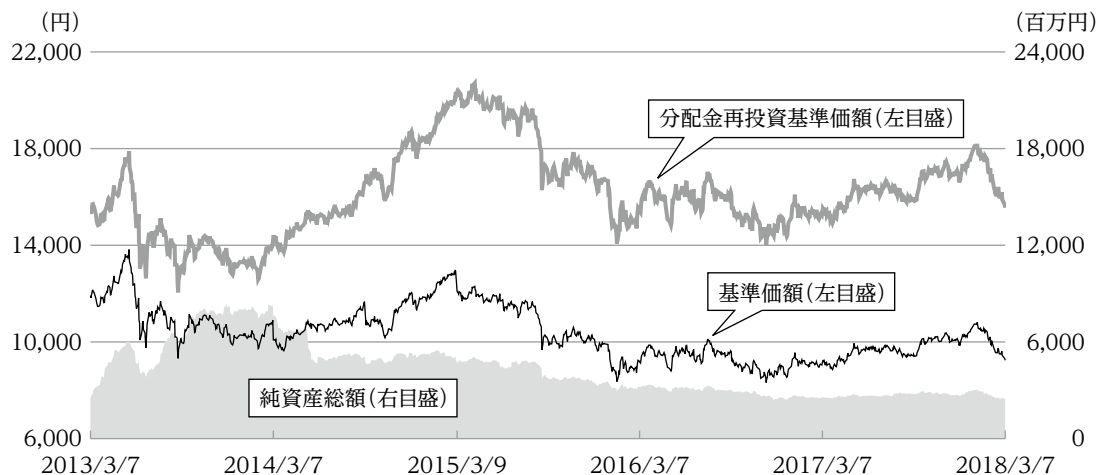
(注1) 期中の費用 (消費税等のかかるものは消費税等を含む) は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額 (円未満の端数を含む) を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 最近5年間の基準価額等の推移について (2013年3月7日～2018年3月7日)



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

決算日		2013/3/7	2014/3/7	2015/3/9	2016/3/7	2017/3/7	2018/3/7
基準価額	(円)	11,916	10,089	12,080	9,196	9,149	9,241
期間分配金合計 (税引前)	(円)	—	1,000	2,000	0	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)		—	-6.9	41.8	-23.9	-0.5	1.0
純資産総額	(百万円)	2,491	7,629	4,666	3,205	2,555	2,450

\*当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

### フィリピン株式市場

当期のフィリピン株式市場は上昇しました。期初はドゥテルテ大統領が進める税制改革法案の審議進展への期待などを背景に良好なセンチメントが継続し、フィリピン株式市場は堅調に推移しました。2017年10月中旬から11月にかけては高値警戒感から利益確定売りが優勢となりましたが、12月に入ると欧州大手格付会社フィッチがフィリピンの長期債格付けを引き上げたことなどが好感され、株式市場は上昇に転じました。12月下旬には税制改革法が成立し、また外国人投資家から資金流入が見られたことから2018年1月末まで堅調な推移が続き、2月に入ると米国長期金利の上昇を背景に米国株式が大きく下落したことを受けて、フィリピン株式市場も連れ安となりました。その後も通貨ペソ安への懸念などから上値の重い展開が続き、期末まで軟調に推移しました。

### 為替市場

フィリピンペソは経常収支の悪化懸念などを受けて対米ドルで下落しました。また対米ドルでの円高進行を背景に、フィリピンペソは対円でも下落しました。

### 国内債券市場

2017年9月末に米国債利回り上昇や日本国債格下げの可能性が報道されたことから、日本国債利回りは一時上昇（価格は下落）しましたが、その後は手掛かり材料難の中、12月末にかけてもみ合いとなりました。2018年1月には、世界的な株高、原油高を背景としたリスク選好の強まりや超長期国債買い入れオペの減額などから利回りは上昇しましたが、2月に入り、米国の長期金利の急上昇を受けて世界的に株価が急落し、リスク回避姿勢が強まったことから、日本国債利回りは再び低下（価格は上昇）しました。

## ポートフォリオについて

### 当ファンド

主要な投資対象の一つであるイーストスプリング・インベストメンツ - フィリピン・エクイティ・ファンド クラスJ（以下「フィリピン・エクイティ」といいます。）の組入比率を高位に保つよう運用しました。

### フィリピン・エクイティ

フィリピン株式を主要投資対象とし、長期的な成長を目指した運用を行いました。個別銘柄調査とバリュエーションを重視し、市場全体およびセクター内で割安に評価されている銘柄を中心に投資を行い、割高となった銘柄

柄の組入れを減らしました。当期は業績成長への期待が高まったことで株価が上昇した持株会社SM Investmentsなどの保有がプラス要因となりました。一方で業績への懸念が強まった通信会社PLDTなどの保有がマイナス要因となりました。

### イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型I (適格機関投資家向け)

主としてデュレーションをコントロールすることによって、ベンチマークであるICE BofAML 国債インデックス (1-10年債) を中長期的に上回ることを目指して運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

### 分配原資の内訳 (1万口当たり、税引前)

項目	第11期	
	2017年9月8日 ~2018年3月7日	
当期分配金 (円)	(円)	—
(対基準価額比率) (%)	(%)	—
当期の収益 (円)	(円)	—
当期の収益以外 (円)	(円)	—
翌期繰越分配対象額 (円)	(円)	1,400

(注1)「当期の収益」と「当期の収益以外」は円未満は切捨てて表示しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2)当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3)－印は該当がないことを示しています。

## 今後の運用方針について

### 当ファンド

主要な投資対象の一つであるフィリピン・エクイティの組入比率を高位に保つことを基本とします。

### フィリピン・エクイティ

フィリピン経済は、底堅い内需や投資の増加に支えられ、今後も健全な財政状況の下で力強い成長が期待されます。ドゥテルテ政権が進める外資規制の緩和やインフラ整備などの政策により更なる投資拡大が期待され、経済成長をけん引するものと見られます。一方で、フィリピン株式市場は、世界の株式市場の動向など外部要因から影響を受ける局面が見込まれます。また、投資家のリスク回避姿勢の強まりが重石となる可能性もあり注意が必要と考えられます。今後も投資環境の変化

に対する市場の反応などに留意しつつ、下落局面では割安となった優良銘柄に選別投資を行う方針です。

### イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型I (適格機関投資家向け)

日銀の金融緩和を背景に、今後も日本国債利回りは低位で安定的に推移するものとみています。しかし、国内債券市場では市場の流動性が低下しており、海外金利の動向などで市場が一時的に不安定化する可能性もあり注意が必要です。今後もファンダメンタルズ分析、金利動向予測、イールドカーブ分析等を行いベンチマークであるICE BofAML 国債インデックス(1-10年債)を中長期的に上回ることを目指した運用を行っていく所存です。

## お知らせ

該当事項はありません。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	無期限(2012年9月28日設定)
運用方針	主にフィリピンの企業の株式等を投資対象とする投資信託証券に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	外国投資法人「イーストスプリング・インベストメンツ - フィリピン・エクイティ・ファンド クラスJ」の投資証券（米ドル建て）およびわが国の証券投資信託「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型I（適格機関投資家向け）」の受益証券（振替受益権を含みます。）を主要投資対象とします。
運用方法	以下の投資制限のもと運用を行います。 ・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ・株式への直接投資は行いません。
分配方針	毎決算時（毎年3月7日および9月7日。休業日の場合は翌営業日。）に、基準価額水準および市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。

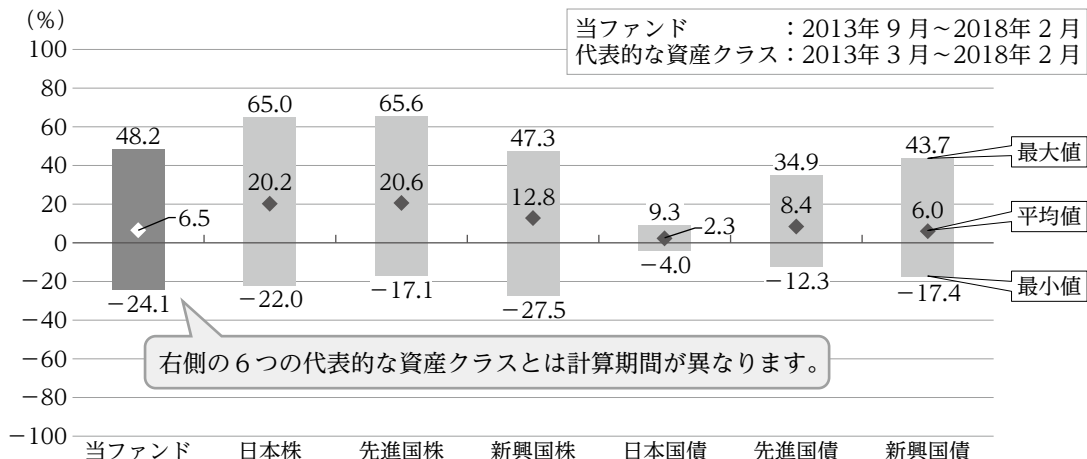
## 指数に関して

当ファンドの投資対象である「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型I（適格機関投資家向け）」のベンチマークについて

ICEデータ・サービスおよびその関連会社は、提供するインデックスデータに関してその継続性、正確性、完全性を保証するものではなく、当該データ提供に係り発生し得る損害についてもその事由の如何を問わず責任を負うものではありません。



## (参考情報) 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※当ファンドと代表的な資産クラスについて、上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を表示し、定量的に比較できるように作成したものです。当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

※すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

※当ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

### 各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)	株式会社東京証券取引所の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび東証株価指数 (TOPIX) の商標又は標章に関するすべての権利は株式会社東京証券取引所が有しています。
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円換算ベース)	MSCI Inc.が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)	
日本国債	NOMURA-BPI国債	野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)	FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
新興国債	J.P.モルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド (円ベース)	J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表しているインデックスであり、著作権、知的財産権はJ.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しています。「円換算ベース」は、米ドルベースの指数を当社が円換算したものです。

## ファンドデータ

### 当ファンドの組入資産の内容

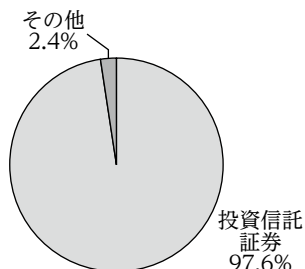
#### 組入ファンド

(組入銘柄数：2銘柄)

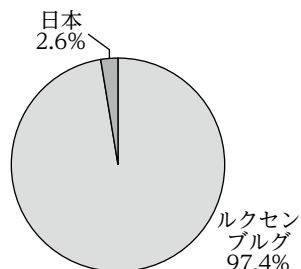
ファンド名	第11期末 2018年3月7日
イーストスプリング・インベストメンツ - フィリピン・エクイティ・ファンド クラスJ	97.4%
イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型I(適格機関投資家向け)	0.2%

(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

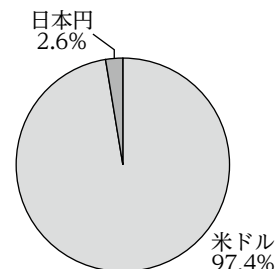
#### 資産別配分



#### 国別配分



#### 通貨別配分



(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

### 純資産等

項目		第11期末 2018年3月7日
純資産総額	(円)	2,450,581,867
受益権総口数	(口)	2,651,907,427
1万口当たり基準価額	(円)	9,241

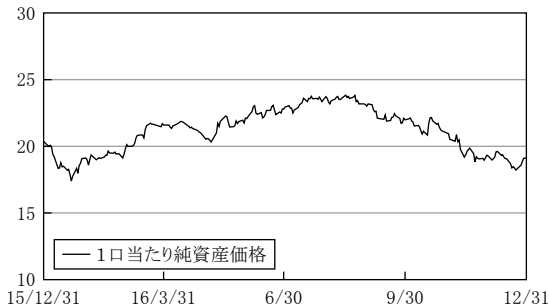
\*当期中において追加設定元本額は574,711,522円、一部解約元本額は853,421,631円です。

## 組入上位ファンドの概要

### ◆イーストスプリング・インベストメンツ - フィリピン・エクイティ・ファンド クラスJ

○基準価額(1口当たり純資産価格)の推移  
(2016年1月1日～2016年12月31日)

(米ドル)



○1万口当たりの費用明細

(2016年1月1日～2016年12月31日)

当該期間のAnnual Report(監査済み)には、1万口当たりの費用明細が開示されていないため、記載できません。

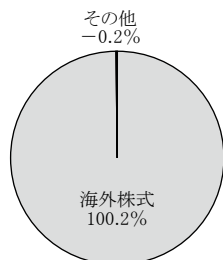
以下は、イーストスプリング・インベストメンツ - フィリピン・エクイティ・ファンドの内容です。

○組入上位10銘柄(組入銘柄数:34銘柄)

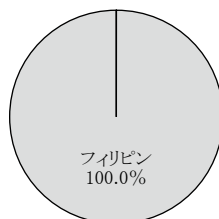
(2016年12月31日現在)

	銘柄名	業種	国・地域	比率
1	SM Investments Corp	資本財	フィリピン	10.4%
2	Ayala Land Inc	不動産	フィリピン	7.7%
3	SM Prime Holdings Inc	不動産	フィリピン	7.3%
4	JG Summit Holdings Inc	資本財	フィリピン	5.6%
5	BDO Unibank Inc	銀行	フィリピン	5.2%
6	Aboitiz Equity Ventures Inc	資本財	フィリピン	5.1%
7	Ayala Corp	各種金融	フィリピン	5.1%
8	Bank of the Philippine Islands	銀行	フィリピン	4.7%
9	PLDT Inc	電気通信サービス	フィリピン	4.7%
10	Metropolitan Bank & Trust Co	銀行	フィリピン	4.1%

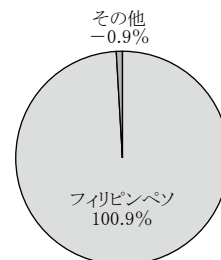
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 組入ファンドのデータは、当社で入手可能な時点のもの(監査済みおよび同時点の関連データを含む)を使用しています。

(注2) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

(注3) 資産別・通貨別配分において未払金等の発生により「その他」の数値がマイナスになることがあります。

\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

## 組入上位ファンドの概要

### <イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型 I（適格機関投資家向け）>

#### 基準価額の推移

(2017年2月28日～2018年2月26日)



#### 1万口当たりの費用明細

(2017年2月28日～2018年2月26日)

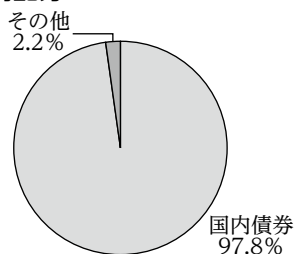
項目	金額	比率
(a) 信託報酬	23円	0.215%
（投信会社）	(15)	(0.140)
（販売会社）	(2)	(0.022)
（受託会社）	(6)	(0.054)
(b) その他費用	1	0.013
（監査費用）	(1)	(0.013)
（その他）	(0)	(0.000)
合計	24	0.228

#### 組入上位10銘柄 (組入銘柄数：20銘柄)

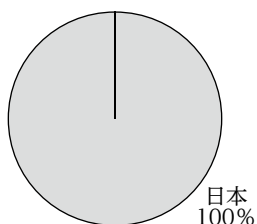
(2018年2月26日現在)

銘柄名	種別	利率	償還日	国・地域	比率
第87回利付国債（20年）	国債	2.2%	2026/3/20	日本	9.0%
第91回利付国債（20年）	国債	2.3%	2026/9/20	日本	8.3%
第63回利付国債（20年）	国債	1.8%	2023/6/20	日本	7.6%
第48回利付国債（20年）	国債	2.5%	2020/12/21	日本	7.5%
第311回利付国債（10年）	国債	0.8%	2020/9/20	日本	7.1%
第67回利付国債（20年）	国債	1.9%	2024/3/20	日本	7.0%
第80回利付国債（20年）	国債	2.1%	2025/6/20	日本	6.1%
第53回利付国債（20年）	国債	2.1%	2021/12/20	日本	6.0%
第47回利付国債（20年）	国債	2.2%	2020/9/21	日本	5.9%
第112回利付国債（5年）	国債	0.4%	2018/6/20	日本	5.6%

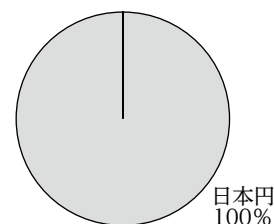
#### 資産別配分



#### 国別配分



#### 通貨別配分



(注1) 1万口当たりの費用明細の項目の概要および注記については、2ページの「1万口当たりの費用明細」の記載をご参照ください。

(注2) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産総額に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。